

都市交通政策評価のための調査・分析技術の開発

Developing Advanced Survey and Analysis Methods for Transportation Planning

キーワード：交通計画、ネットワーク均衡 / keywords: transportation planning, network transportation equilibrium

円山 琢也 准教授 博(環境学) / Takuya MARUYAMA Associate Prof., Ph.D.

環境共生工学専攻 社会環境マネジメント講座 (兼務) / Department of Environmental Management and Planning

E-mail: takumaru@kumamoto-u.ac.jp URL: <http://www.cps.kumamoto-u.ac.jp/center/maru/>



●スマートフォンを用いた交通調査手法の開発

スマートフォンのアプリを利用した、安価で簡単な交通調査手法を開発し、パーソントリップ調査と同時に行う総合的
交通調査・分析手法を開発している

●道路課金政策の評価モデルの構築

コードン課金・エリア課金などの次善の混雑課金政策の最適化設計を行う計算法を開発し、実都市圏に適用している

●ネットワーク均衡モデルの高度化

交通需要予測手法としてのネットワーク均衡モデルの高度化・実用化を進めている



図 開発した交通調査用スマートフォン・アプリ

©2010 熊本県くまモン #3901

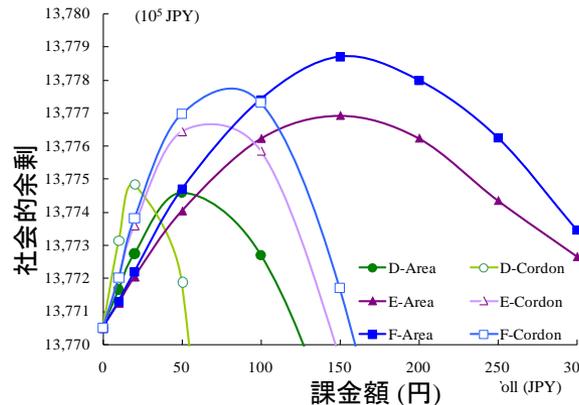
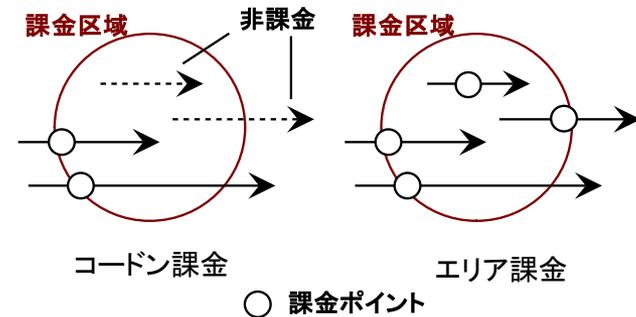


図 コードン課金とエリア課金の方式の違い (コードン課金は、区域に流入するたびに課金される。エリア課金は区域内の走行に日単位で課金がされる。)

図 コードン型とエリア型の混雑課金による効果の比較 (D,E,Fそれぞれの領域で、最適エリア課金額は最適コードン課金額よりも高い)

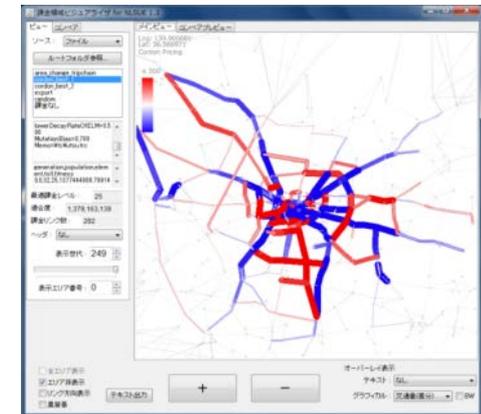


図 コードン型とエリア型の混雑課金政策を最適設計するソフトウェアの画面例